

5条届出記入例【共有名義】

連絡先(電話番号)

農地法第5条第1項第7号の規定による農地転用届出書

届出日 令和 年 月 日

届出を行う日付をご記入ください

練馬区農業委員会 会長 殿

個人の場合は氏名を、法人の場合は社名・代表取締役の肩書・氏名をご記入ください。

譲受人

株式会社〇〇〇
代表取締役 大泉 義男

印

2段書き等にして全員記載するか、別紙を作成してください。

譲渡人

石神井 太郎
ほか 名 別紙記載のとおり

印

届出者の氏名(法人はその代表者の氏名)を自署する場合は、押印を省略できます。

下記によって転用のため農地(採草放牧地)の権利を設定し、移転したいので、農地法第5条第1項第7号の規定によって届け出ます。

1 当事者の住所等	当事者の別	氏名		住所		職業
	譲受人	株式会社〇〇〇 代表取締役 大泉 義男		練馬区大泉学園町1丁目30番78号		会社員
	譲渡人	石神井 太郎 ほか 名 別紙記載のとおり		練馬区石神井町3丁目30番26号		農業
2 土地の所在等	土地の所在	地番	地目 登記簿 現況	面積 (㎡)	土地所有者 氏名・住所	耕作者 氏名・住所
	下石神井二丁目	番	畑 畑	400	石神井 太郎 ほか 名 別紙記載のとおり	同左
	以下余白					
	計	400 ㎡(田 ㎡、畑 400 ㎡)				
3 権利を設定、移転しようとする契約の内容	権利の種類	権利の設定 移転の別	権利の設定 移転の時期	権利の存続期間	その他	
	(1) 所有権 (2) 賃借権 (3) その他	設定 移転	受理書交付後 令和 年 月 日	永久転用 令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで		
4 転用計画	転用の目的	共同住宅建設		開発許可を要しない転用行為にあっては 都市計画法第29条の該当号		1号
	転用の時期	工事着工時期			工事完了時期	
		令和 年 月 日			令和 年 月 日	
転用の目的に係る事業 又は施設の概要	鉄筋コンクリート造 3階建 共同住宅1棟 延面積 ㎡					
5 転用することによって生ずる付近の農地、作物等の被害の防除施設の概要	東.....	宅地	支障ありません			
	西.....	宅地				
	南.....	畑				
	北.....	道路				

別紙を作成しない場合、共有者全員分記載してください。

参考
「開発許可を要しない転用行為の都市計画法第29条の該当号」
1号:市街化区域でその規模が500㎡未満
3号:公益上必要な建築物の建築の用に供する開発行為
4号:都市計画事業
5号:土地区画整理事業
6号:市街地再開発事業
7号:住宅街区整備事業
8号:防災街区整備事業
10号:非常災害の応急措置
11号:通常の管理行為、軽微な行為その他の行為で政令に定めるもの

(記載要領)

1 法人である場合は、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の欄にその業務の内容をそれぞれ記載してください。
「係る事業又は施設の概要」欄には、事業又は施設の種類、数量及び面積、その事業について具体的に記載してください。

記入の必要はありません

事務局次長	係長	審査	係員	練農委転第 号
				收受 月 日
				起案 月 日
				決定 月 日
				交付 月 日

【記入例】

(別紙) 当事者の氏名・持分・印・住所・職業

届出者の氏名(法人はその代表者の氏名)を自署する場合は、押印を省略できます。

当事者の別	氏名	持分	印	住所	職業
譲受人					
譲渡人	石神井 太郎	1/3	印	練馬区石神井町 3丁目30番26号	農業
"	石神井 次郎	1/3	印	同 上	同上
"	石神井 三郎	1/3	印	同 上	同上
	以下余白				



本記入例を参考にして作成するか、別紙の帳票をお使いください。

